提供者サイドから見た身体状況に応じたサービスのイメージ図

活動期　虚弱期　急性期　慢性期　終末期

市役所　地域包括支援センター

充実した暮らしを実現するため、敬老事業や老人クラブの支援を行い、また、健康づくりや介護予防を進めるため健康寿命の延長の事業を展開していく。

敬老事業　老人クラブ　介護予防事業
健康教育　健康診査

介護保険サービスの基盤整備とサービス提供を行い、在宅生活を支えるための低所得者対策や一人暮らし世帯を支援することで、在宅の高齢者の生活を支える。

住宅改修　認知症対策
ほっとサロン

介護保険サービスを中心に、在宅生活者には、制度を補完する福祉サービスを提供し、また、施設サービスの需要に応えるため、特養や介護事業所の整備を進める。

ねたきり事業(おむつ・理髪など)
基盤整備（特養　グループホーム）

ひとり暮らし　高齢者のみ世帯

孤独感の解消や地域とのつながりを進めるため、食事会や日帰り旅行などを実施する。

食事会　日帰り旅行

身体的な要因で難しくなった生活面を支えるため、所得や家族支援の可否の状況に応じて、福祉サービスを提供する。

生活援助サービス（食事・家事・通院支援）
緊急通報
寝具乾燥

介護保険サービス提供事業所

介護保険居宅サービス　基盤整備(グループホーム)

介護保険居宅サービス
介護保険施設サービス

民間の団体 地域の団体

就労活動の支援や、シルバー人材センターでは高齢者の働き方に応じた就労を支える。

就労の提供　ボランティア活動
自治会活動　シルバー人材センター

介護保険制度では対応できない部分を、社会福祉協議会の有償サービスや民間事業者の自費サービスにより提供する。

有償在宅福祉サービス　見守りネットワーク
NPO 法人の活動　災害時要援護者支援

多様な住まい方としてケア付住宅や有料老人ホームを建設するなど、ケア環境が整った生活の場を提供する。

ケア付住宅　有料老人ホーム

医療関係団体

診療所等は、ホームドクターとなる「かかりつけ医」の定着を進める。

かかりつけ医　健康診査

急性期の疾病治療の体制を整え、また、医療情報を関係機関へ提供する。認知症の医療相談等を行う。

疾病治療　情報提供　もの忘れ相談

医療ショートステイの実施や、在宅療養者へは訪問診療等を提供する。入院環境の提供。

医療ショート　往診　病院

利用者と家族

日常生活の支え合いの関係を深めるため、自治会やボランティア活動に参加する。ライフワークとなる趣味活動や生涯学習を進め、自分らしい充実した生活を実現していく。健康寿命を延ばすため健康診査や介護予防事業を利用する。

趣味活動　生涯学習活動
友人や知人との交流

地域の関係機関との連携のもと、見守りネットワークを進め、早期対応による支援を行う。
生活面において介護保険制度や有償サービス、また、家族が支えることで、在宅生活を続ける。

家族や親族による支え

在宅生活を継続するため、介護保険制度や福祉サービス、医療機関と調整しながら、在宅での介護対応を進める。

施設や病院などケア管理機能が高い場所で生活することで、在宅生活が難しくなった場合の介護対応をする。